

教育だより

とっとり 夢ひろば

TOTTORI YUMEHIROBA

VOL. 106

2023. WINTER

鳥取県教育委員会



船上山少年自然の家 ウィンターフェスティバル



船上山少年自然の家 ちっちゃい探検隊



大山青年の家 そり遊び

《主なトピック》

鳥取県の子どもたちの学習状況
～令和5年度 全国学力・学習状況調査結果から～
県立高校をのぞいてみよう!



鳥取県の子どもたちの学習状況

～ 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果から ～

「社会がどんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい」、そんな願いが「学習指導要領」には込められています。全国学力・学習状況調査では、「学習指導要領」で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題が、出題されています。

毎年4月に、小学校6年生と中学校3年生を対象に実施され、夏に結果が公表されます。



全国学力・学習状況調査とは？

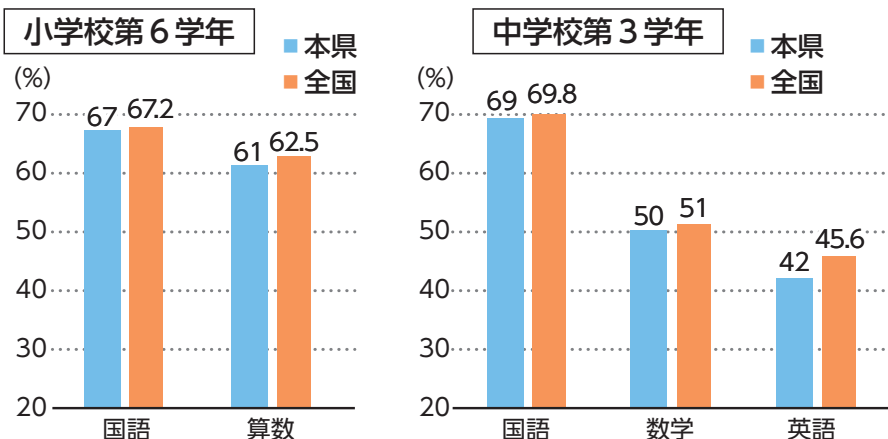
目的：児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる

対象学年：小学校第6学年
(義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部を含む)
中学校第3学年
(義務教育学校後期課程、特別支援学校中学部を含む)

調査内容：【小学校】
国語、算数、質問紙調査

【中学校】
国語、数学、英語、質問紙調査
※令和5年度は4年ぶりに英語が実施されました。

鳥取県と全国の平均正答率の比較【学力調査】



小学校では、国語は全国平均との差は見られませんでした。算数では全国平均を下回りました。中学校では、国語・数学は全国平均との差は見られませんでした。英語では、全国平均を大きく下回りました。



鳥取県の子どもたちの学習意欲・学習状況等【質問紙調査】

() 内は全国平均との比較
〔全国平均と比べ、良かった項目 : **ピンク**〕
〔全国平均と比べ、課題のある項目 : **水色**〕

質問項目	小学校	中学校
自分には、よいところがあると思う。	84.3(+0.8)%	80.5(+0.5)%
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	79.9(+3.1)%	68.1(+4.2)%
将来の夢や目標を持っている。	81.2(-0.3)%	66.3(±0)%
昼休みや放課後、学校が休みの日に図書館・学校図書室に行く。	61.6(+2.8)%	48.5(+9.0)%
授業で、ICT機器を使用している。	86.2(-0.1)%	93.3(+5.8)%
発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している。	57.8(-5.9)%	58.1(-4.0)%



鳥取県には、地域や社会に貢献したいと思う子どもが多くいます。「将来にわたりふるさと鳥取を思い、様々な場面でふるさと鳥取を支えていくことができる」子どもたちが育ちつつあります。

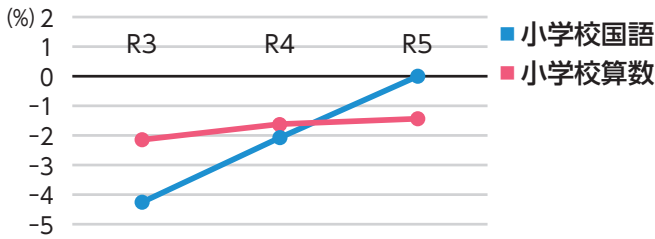
改善されてきていることは?

「思考・判断・表現」(*)を問う問題、記述式の問題で改善傾向が見られました。授業改善の成果が表れてきています!

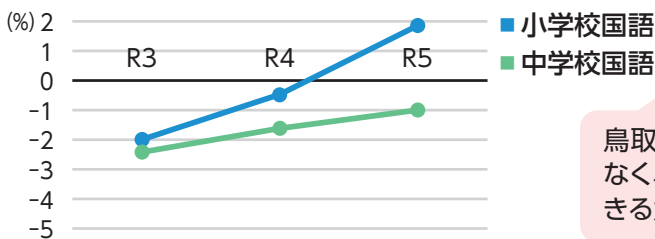


※知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な力

「思考・判断・表現」を問う問題 (全国の平均正答率との差)



記述式の問題 (全国の平均正答率との差)



中学校 英語



英語の質問紙調査では、「授業は楽しい」と回答していますが、学力調査では全ての問題で正答率が全国平均を下回りました。今後は子どもたちが楽しみながら、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る力を身に付けていく授業づくりが必要です。

そのために

- 英語を使ったコミュニケーションの中で、英語力を伸ばしていくことを目指します。
- 先生も英語で指示を行うなど、授業を英語で進めることに取り組みます。
- ALT(*)等との授業や海外とのオンライン英会話等(**)で、英語を話す場面を設定します。

(*)ALT: 学校等で英語の指導や国際理解教育に携わる外国語指導助手。

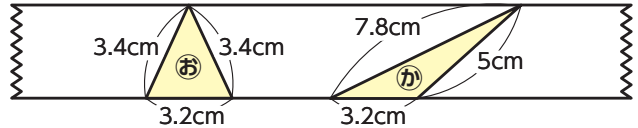
(**)オンライン英会話: 鳥取県では中学校の授業でオンライン英会話を実施する市町に受講料の一部を支援しています。(オンラインスピーキング事業)

気になった問題は?

小学校 算数

テープの上の直線と下の直線は平行で、テープの幅はどこも等しくなっています。2つの三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。

番号を1つ選んで、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。



- ①の面積のほうが大きい。
- ②の面積のほうが大きい。
- ①と②の面積は等しい。
- ①と②の面積は、このままでは比べることができない。

【正答率(公立)】
全国 20.8%
鳥取県 19.0%

三角形の形が違って、底辺と高さが等しい長さであればその面積は等しくなるはずだね。

鳥取県では、約3割の児童が4を選びました。公式を覚えるだけでなく、その考え方についても話し合いなどを行って、理解し活用できる力を身に付けていくような授業づくりに取り組んでいきます。

夏休みに、「英語で遊ぶ」&「英語を学ぶ」イベントを実施しました。

小学生対象 1DAYイングリッシュ

英語に親しむイベントを県内3か所で実施

「私はだれ?」ゲーム

Am I an anime character?



Here you are.



Thank you.

アイスクリーム屋さんでのお買い物



初めて外国の先生と直接お話ができたので、とてもうれしかったです。(小学3年生)

中高生対象 Tottori English Challenge Program 2023

スピーキング力を高める講座を3日間にわたって実施



とても楽しい3日間でした。目標に向けてもっと英語学習を頑張ります!(中学生)



英語で話す機会がたくさんありましたが、ミスを恐れずに伝えることができました。(高校生)



鳥取県では、子どもたちが「英語がわかった」「英語で伝わった」という喜びや達成感を感じ、英語を使いながら身に付けられる場を充実させていきます。

<誤植についてのお詫びと訂正>

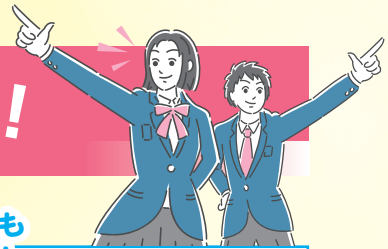
令和5年7月発行の夢ひろば105号3ページ「小学校外国語活動・外国語」において、以下の誤りがありましたので、お詫びと訂正を申し上げます。

【誤】3・4年生では「聞くこと」「読むこと」を中心に英語に慣れ親しみます。5・6年生では段階的に「読むこと」「話すこと」にも取り組みます。

【正】3・4年生では「聞くこと」「話すこと」を中心に英語に慣れ親しみます。5・6年生では段階的に「読むこと」「書くこと」にも取り組みます。

問合せ先 小中学校課学びの改革推進室 電話 0857(26)7947 FAX 0857(26)8170

県立高校をのぞいてみよう!



智頭農林高校

加工や作品製作、販売まで学べます

学んだ知識や技術を活かして、造園や家具製作などの各種技能検定、チェーンソー取扱業務などの様々な資格取得にもチャレンジできます。

(※令和7年度から生産科学科、森林科学科の2学科に再編)

ふるさと創造科

野菜や草花などの農産物の生育から、加工、さらには販売まで幅広く学習できます。また、農業技術を活用した福祉や保育についても学習できます。

森林科学科

演習林で木を切り倒す実習などを通して、森林の保全を学習します。切り出した木を家具や小物に加工する技術についても習得できます。

生活環境科

庭園を造ったり室内を装飾したりするなど、癒しと安らぎを感じる空間をつくることを学習します。さらに、藍を栽培から行っているなどの藍染作品を製作することもできます。



木材加工用機器も充実しています



生徒が作った特産品などを販売しています



いろいろなことができて楽しいよ!



生徒が集うサードプレイス「BASE Connect」を設置し、2人の魅力化コーディネーターのサポートのもと、活動に取り組んでいます。「One's BASE 生徒First」をモットーに、かき氷づくりや日本語学校とのカレーを通じた異文化交流など、高校の授業ではできないことを実現する場所づくりを目指しています。

進路の例

4年制大学：鳥取大学、福山大学

短期大学：鳥取短期大学、美作大学短期大学部

就職：智頭町森林組合、(株)マルイ、鳥取県庁(土木)

倉吉農業高校

様々な挑戦によって技能を育みます

測量士補や食品衛生責任者、パソコン検定など、多くの資格を取得できます。

生物科

乳牛やブタ、羊、ヤギ、鶏などの飼育や乗馬を通じた交流などによって、命を大切にすることを育みます。また、野菜やスイカと二十世紀梨を中心とした果樹の栽培を通して、園芸の知識および技術の習得を目指しています。最近では青パパイヤの研究にも取り組んでいます。

食品科

みそ、醤油、ソーセージなどの肉加工品の他、製パン実習やスイーツ開発、販売実習を通して、接客技術やマーケティングについて学習しています。また、おいしいお米の栽培にも取り組み、農業高校お米甲子園では上位入賞が続いています。ドローンやロボットトラクターなどに代表されるスマート農業も学習できます。

環境科

森林がもたらす環境保全に関する知識や木材加工技術について学習します。また、建設・土木業界の担い手育成にも取り組み、アスファルト舗装実習や測量技術研修会、県土木整備部測量競技会への参加など専門技術習得に取り組んでいます。



JR倉吉駅花壇の植栽の様子です



測量実習の様子です

在校生の声 | 生物科 嶋本 珠琴 さん(京都から進学)

私が倉吉農業高校に進学した理由は、動物、特に鶏が好きだからです。将来は鶏に関係する仕事をしたいと思っています。今は、放課後や休日の時間を使って「鶏の発酵飼料に関する研究」に取り組んでいます。鳥取県の良さを見つける学校行事「鳥取県の魅力発見ツアー」では、県外から入学した寮生とともに、「大栗西瓜選果場」「大山滝」など県内の農業施設や名所を見学しました。鳥取県での生活を楽しんでいます。



進路の例

4年制大学：鳥取大学、公立鳥取環境大学、東京農業大学

短期大学：鳥取短期大学、埼玉女子短期大学

専修・各種学校：県立農業大学校、鳥取市医療看護専門学校

就職：鳥取中央農業協同組合、(株)チュウブ、(株)井木組、鳥取県庁、林野庁

日野高校

地域と関わりながら成長する3年間

総合学科(4系列)による、日野郡3町の地域資源(人、フィールド)を活用した特色のある教育の実践を行います。簿記実務検定や危険物取扱者など、多様な資格取得も可能です。

総合進学系列

大学や短期大学等へ進学するための学習をします。個別相談などのサポート体制も充実しています。

アグリライフ系列

豊かな自然環境で草花・野菜の栽培、食品製造を中心に農林業を学習します。ドローン操作などの先端的な農業技術も習得できます。

情報ビジネス系列

地域の産業やビジネスが必要とする商業の知識・技術を学習します。動画編集をはじめとした現代のIT社会に対応できる技術も習得できます。

ヒューマンケア系列

人との交流や体験を通して、高齢化社会に必要な介護や福祉に関する知識、技術を学習します。



黒坂フェスタで「たません」販売



地域の方と「ちまきづくり」

在校生の声 | 総合進学系列 和田 樹月 さん(千葉から進学)

日野高校を選んだ一番の理由は、地域の方々との関わりが深いことです。小中学校では生徒数も多く、自分を表に出す機会は少なく、また地域の方と関わることも多くありませんでした。日野高校であれば、沢山の経験を積み、社会で必要なコミュニケーション能力を高められるのではないかと入学しました。



授業では、地域活性化のため旧黒坂小学校の校舎を再利用する研究に取り組んでいます。また、課外活動では、学生寮の寮生有志で「みらいず」というチームを結成し、地域のイベントで高齢者の方向けに「スマホ教室」を行ったり、カヌーやラフティング等のアクティビティも経験したりすることができました。日野高校に入学し、ここでしかできない体験を通してコミュニケーション能力を高めることができ本当に良かったと思います。

進路の例

4年制大学：公立鳥取環境大学、鳥取看護大学、奈良大学

短期大学：鳥取短期大学、大阪健康福祉短期大学

各種学校：にちなん中国山地林業アカデミー

就職：日本郵便、丸合、グリコマニユファクチャリングジャパン、日野町